

『みずほ台駅』の

できるまで



—世界につながる出入口—

し尿の積み降ろし仮設ホーム(昭和2年)

水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会

発行 富士見市立水谷公民館

富士見市水谷1-13-6 TEL049(251)1129・FAX049(255)9886

編集委員: 前田 水谷公民館だよりのホームページ <http://www.geocities.jp/kouminkandayori>

私たちの水谷地区と世界を結ぶ出入口は、東武東上線の『みずほ台駅』です。

東上線は、大正3年(1914)から開通していましたが、志木から鶴瀬までの間に停車場のない、貨物輸送が中心の鉄道でした。

この鉄道を私たちの水谷地区で利用できるための運動は、まだ単線の昭和28年(1953)頃から始まり、25年目の昭和52年(1977)10月に新駅が設置されて実りました。

何気なく利用している鉄道の恩恵を、もう一度考えて見ましょう。
(取材協力 東武博物館) 担当: 前田 川上 戸塚

東上鉄道の発展

現在の東武東上線の前身である東上鉄道(株)の東上線は、大正3年(一九一四)5月に開通し、「池袋」から現在の川越市駅と霞ヶ関駅の間あたり「田面沢駅」間の33.5kmをつなぎました。途中の停車場は、下板橋、成増、膝折(現朝霞)、志木、鶴瀬、上福岡、六軒町(現川越市)でした。ダイヤは、大正7年ごろは上り下りともに2時間に1本程度で、単線で蒸気機関車に繋がれて、池袋と鶴瀬間を1時間で走行したと記録にあります。



柳瀬川をわたる大正時代の東上線

その後、大正9年(一九二〇)、東武鉄道(株)と合併して東武東上線となる経緯をはさんで、この鉄道は次のように延長を続けて発展して行きます。
大正4年 現川越駅が完成
大正5年 坂戸町まで延長
大正12年 武州松山まで延長
同年小川町まで延長。
大正14年には、寄居まで延長され、全長75.2km

仮設ホームの「ばんたる」

となり、国有鉄道の八高線と接続することになります。このような延長工事が一段落した昭和初期には、この鉄道の複線化と電化の要望がよせられました。その背景は、折からの首都東京の大発展と密接にかかわっているものでした。

昭和2年(一九二七)、この水谷地区に「駅」ができました。といっても乗客や貨物用でなく、東京から肥料の原料用として運ばれてくる「し尿」の積み降ろし専用の仮設ホームでした。一ヶ月に70本程の「し尿列車」が運行されて、東京から荷物が到着すると、「ばんたる」と呼ばれる係りの人が、誰が何種を受け取ったかを記録していたそう。後でまとめて清算されたようです。
肥料は農家の人々が牛馬車や大八車、リヤカーを使ったり、天秤棒で荷つて畑まで運び、野壺で発酵させて肥料としました。

新駅の期待

戦後の昭和26年(一九五二)には、この「し尿積み降ろし用ホーム」が利用拡張されて、この地区の路線の一部を複線化した電車の交換施設が設置されました。これに東武鉄道が、稲穂の実る高台という意味で「みずほ台信号所」と命名したと「駅名由来」という本にあります。

新駅設置の運動

昭和28年(一九五三)には志木・川越間の複線化実施が決定され、29年11月に完成しています。東武鉄道に複線化への協力を要請された際、水谷村は協力を約束するとともに新駅開設を強く要望し、関係地主などの協力を得て、3813坪の土地を取りまとめ「駅予定地」として東武鉄道に売り渡しました。

昭和32年(一九五七)、東武鉄道は沿線開発促進の方針について住宅公団と提

新駅設置への道

昭和44年(一九六九)になると、「新都市計画法」携し、水谷地区の唐沢山などに大規模な住宅団地を建設するために、富士見村にその計画用地10万坪を確保してほしいと、申し入れてきました。この土地に住宅2千戸を建設する計画に併せて、新駅を開設する予定との話でした。



みずほ台駅新設工事 東武博物館所蔵



みずほ台駅新ホーム 東武博物館所蔵

「市街化調整区域」によって「市街化調整区域」に編入されるおそれも生じたため、みずほ台周辺の地
主や有力者が集まって、自治体の後押しをも受けて、「みずほ台土地区画整理組合」を結成し、昭和47年から知事の認可も得ての壮大な新都市計画に着手することになりました。
対象地域としては、現在の水谷、東みずほ台、西みずほ台各地区になります。
この新展開に東武鉄道側も「この区画整理事業が実施されれば、新駅を開設する。」という方針を示しました。
着手から8年後の昭和52年(一九七七)10月21日、念願の『みずほ台駅』が、東上線第34番目の駅として開業されました。
昭和56年には橋上駅舎となり、また大学も近い駅として周辺は大幅に開発され、現在は1日に乗降客4万1千人が利用する駅となっています。
参考文献
*「ふじみネット会議室」
*「東武鉄道百年史」
*「富士見市史 通史編下巻」
*東武博物館

水谷公民館からのお知らせ

☆子育てサロン

親子フレンドパーク

親子で自由に過ごす時間です。

◇日時 4月20日(水) 午前10時30分～12時

◇場所 水谷公民館 児童室

◇問合せ 水谷公民館

水谷こども広場

◇日時

日時 4月11日(第2月曜日)

午後2時30分～夕焼け放送

場所 水谷公民館多目的ホール

*ボール遊びやバドミントンをしたり

おしゃべりや宿題もやっています。

◇土曜日道場

日時 4月23日(第4土曜日)

午前9時30分～11時30分

場所 水谷公民館 全館

*茶道・絵手紙・押し花・折り紙

*スポーツ吹き矢・ベーゴマ

*スポーツ(卓球・バドミントン)

卓球・バドミントンをする人は、

うわばきをもってきてください。

主催 富士見市地域子ども教室実行委員会

(水谷小学校区)



「子育て中に思うこと」

この春、娘が小学校を卒業します。上の子とあわせて10年間水谷小学校にお世話になりました。卒業が近づくと、なんとも寂しい気分になっています。ですが先日、水谷中学校の説明会に行き、新1年生が6人という少人数に、わかつてはいたけ

れど、なんだかかなあ...と思わずにいられます。こうして日々、子どもの成長と共に、いろいろな想いを感じさせてもらっています。

私は現在、水谷公民館で水谷子ども広場の「ごころ」の安全管理員を、子育てサロンで保育スタッフをしています。ごころでは小学生と、保育スタッフでは赤ちゃんとふれ合っています。保育スタッフは、1歳から3歳前後の赤ちゃんをだいたい2時間くらい預かって面倒を見ています。赤ちゃん達はとてもか

パソコン相談室

パソコンを始める方、困っている方、

わからないことなどご相談ください。

*ご自分でノートパソコンをお持ちの方はご持参ください。

*電源の入れ方から文書・計算・表の作り方等のご相談を受けます。

◇毎週水曜日(第5週を除く) 午後2時～4時

◇場所 水谷公民館 講座室

◇主催 公民館PCサポートクラブ・水谷公民館

平成23年度

利用者懇談会(第1回)の開催

公民館の利用についてみんなで話合います。

◇日程 4月27日(水)

①午後の部 1時30分～ 多目的ホール

②夜間の部 7時30分～ 講座室

*午後か夜間いずれかに参加してください。

◇内容 ・公民館の利用について

・世話人会について

◇問合せ 水谷公民館

★公民館施設利用登録更新について

平成23年度の施設利用に必要な「市内目的団体届」および「免除団体登録」の更新手続き用紙を公民館で配布しています。利用されている予定の団体などで申請用紙を受け取られない方は、水谷公民館までお申し出ください。

なんでもチャレンジ隊平成23年度隊員募集

▽活動期間 4月～3月

*月1回程度(土・休日を中心に活動します)

▽内容 山遊び他

▽費用 1人 1,000円(その他実費負担有)

(未就学児も保険加入)

▽対象 小学生 親子20組 4～6年生は単独可

▽募集期間 4月7日(木)～11日(月)

▽申込 なんチャレンジ隊・荒田

問合せ ☎ FAX (253) 3481

▽入隊式 4月16日(土) 午前9時30分～11時30分

水谷公民館 第1和室

田んぼ体験もち米づくり

◇期間 4月～11月収穫祭まで

◇活動 毎月第3日曜日の午前中(天候により変更あり)

◇場所 水谷前耕地(浦和所沢バイパスと柳瀬川間の水田)

◇参加費 大人1名2,000円 同伴の子どもの場合は無料

◇申込方法 住所・氏名・電話番号またはメールアドレス

参加人数を記入の上、FAXでお申し込みください。

◇説明会 4月17日(日) 午前10時～11時 水谷公民館

◇主催 NPO法人ふれあいTAP

FAX 049(251)2300

ふじみ環境クラブ(河原井)

FAX 049(251)9659

工事終了のお知らせ

おかげさまで公民館修繕工事が終了しました。

長い間ご協力ありがとうございました。

☆主な工事など

屋上防水工事・外壁タイル張替え

サッシ・雨どい工事

多目的ホール壁面一部クロス張替え

中庭照明器具交換

和室内装工事・照明器具交換・畳表替え

工作室・印刷室床張替え

光回線導入工事

講座室机14台入れ替え

水谷地区の人口

(1月31日現在)

(前月比)

人口 30,304人(+21人)
男 15,445人(+13人)
女 14,859人(+8人)
世帯数 13,523(+31)

公民館は

★毎月第3月曜日が休館です。

部屋の利用・予約・申請・印刷等の利用は出

部請求は

●4月18日(月)です。

神話⑦

水宮神社の欄間の紹介

倭建命(日本武尊) 降魔の宝剣(草薙剣)で火難を退ける



らう者たちを征伐しつつ出雲国の出雲建を騙し、太刀をすり替え、イズモタケルも切り殺した。

父に疎まれたヤマトタケルは「東国を征伐せよ」と命じられ、倭姫から草薙剣と火打ち石を与えられた。

東征で野火にかこまれるが、火打ち石で火をおこし、草薙剣で切り抜けた。荒海で船が沈みそうになった時は、妻の弟橘媛が犠牲になり助かった。

その後、美祝比売を妻に迎えたヤマトタケルは、伊吹岐山の神を退治に行く時、草薙剣を妻のもとに置いたまま出発し、白い猪の姿をした山の神が降りた電で傷つき、力尽きて息絶えた。

知らせを受けた后や息子たちが葬儀を行うと、タケルの魂は八尋(約12メートル)の大白鳥になり天に飛び立った。14代天皇にはヤマトタケルの息子の仲哀天皇が即位した。

その昔、12代景天皇の息子小碓は、父が求婚した娘を横取り妻にした兄大碓を殺害した。恐れを感じた父を命じられたオウスは、酒盛りしていたクマソ兄弟を女装して油断させ殺害した。弟タケルは死ぬ前に勇猛なオウスに倭建の名を与えた。ヤマトタケルは朝廷に逆

水谷公民館の施設利用申込は2ヶ月前から受付です。

6月分の予約説明・受付を

☆4月5日(火) 午前8時50分から開始しますの、ご来館ください。

編集後記

今回の特集は、駅ができるまでの経緯で紙面がいっぱいになってしまいました。普段、何気なく利用している最寄りの駅の誕生までの25年間には、地元市民のみならず、行政から地主さんたちの努力と東武鉄道の方々の協力の歴史がありました。

この駅の誕生の契機となった「みずほ台土地区画整理事業」の全貌とこの地域のその後の発展は、追って紹介する予定です。(川上)